



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を  
一人一人が輝く子どもの姿を求めて

☆12月の目標

- ☆学習をがんばろう
- ☆みんなと なかよくしよう
- ☆笑顔で

☆配布物のお知らせ

- 1 学校便り
- ☆保護者の会から

☆今後の行事計画

- 12月2日幼稚部入園募集開始
- 12月16日2学期終業日
- 1月 6日3学期始業日

☆六年二組「私の願い」

續木 遥仁

ぼくの未来がよりよくなるために、することがあります。一つ目は、自分勝手なぼくを改善することです。例えば、ゲームの時間を延ばしてしまふことやご飯前にお腹がすいたからと、ちよつとおかしを食べてしまうことがあります。未来の自分を想像すると自分の時間を大切にしたい、むだのない時間を使う生活が想像できます。時間を大切にしていきたいと思ひます。

二つ目は、めりはりや集中力についてです。やる時はやる。遊ぶときは遊ぶ。というめりはりが足りないと思ひます。次に、集中力です。しゅくだいをやっている時、気を取られたりしますが、集中力やめりはりは、すごく大切だと思います。

☆六年二組「私の願い」

柚木 陸玖

ぼくは、みらいがよくなるために、争いの原因になるけんかをやめたいと思います。もしけんかをしたら、世の中は、必ず戦争になります。世の中が戦争になったら、人も物もすべて無くなってしまうから、けんかをやめたい。やめた方がいいと思います。小さいころ友だちがけんかをしていたところを見ました。その後、その友達はけんかばかりしていませんでした。その後は、その子はだれとも話をしていませんでした。これを見て、けんかはしてもいいことがないと思ひました。みんなが仲よく平和に暮らせる世界になつてほしいです。

☆六年一組「鳥獣戯画を読む」

吉田 ロイス

ぼくは140ページの兎とすもうを取っている蛙を選びました。この蛙は、兎の耳をかんでいました。ぼくは、これは反則わざと思ひます。筆者も「蛙のずる」と書いています。この蛙が兎の耳に大きな口をかみついている表現がとてもおもしろいです。そして蛙の右足が兎の体に巻きついています。ぼくは、蛙が積極的なせめかちをして、ずるをして、絶対に勝ちたいと思う蛙を、応えんしたくなりました。

☆六年一組「鳥獣戯画を読む」

竹内 翔太郎

うさぎがとばされたそのおくに、たおれている蛙と取り上げました。これは、なぜ倒れているのでしょうか。仲間の蛙が勝っているのに、なぜたおれているんだらうと思ひました。ぼくはこう思ひました。たぶんうさぎがびつくりしたんだと思ひます。それか、いい勝負でかんげきして、泣いているんだと思ひます。

☆六年一組「鳥獣戯画を読む」

柘植 航太

この「鳥獣戯画」の絵を見て、ぼくは兎がたおされたような絵の応えんの蛙の、一番左の蛙に目をつけた。なぜなら、その蛙は不思議なポーズをとっているからだ。そのポーズは、なにやら土下座するようなかつこうで、何もかもが不思議だ。だが、そういうところが筆者と同じようにおもしろく思える。ぼくは、この蛙は相撲をとっている蛙が兎の耳をかみ、勝負を決めようとした。そして、その蛙はおくびようだったのか兎がこっちまで飛びこんでくると思ひ、しゃがみよけようとしたものだとぼくは思ひます。筆者の言う通り、この絵巻物はおもしろいものだと思ひます。このような絵を想像してみても、また一つの楽しみだと思ひます。



☆六年一組「鳥獣戯画を読む」

佐藤 隼人

うさぎの耳にかみついている蛙。すもうをとっているみたいだけれど、かみつくのはずるいな気がする。うさぎは「あれー」とさげんでいるように見える。応援のうさぎの一匹は指をさして、「ちよつとずるいよ。」と言っているみたいだけれど、目は笑っているみたいだ。もう一匹のうさぎも、目も口も笑っているようだ。筆者が言うように、楽しいすもうを取っているように思う。なぜかというところ。なげられたうさぎの口と目が笑っているからだ。線だけの絵なのに、楽しそうな表現ができるのがすごいと思う。

☆一年一組絵日記

大前 たい

ぼくは、まえに土いごをみつめました。からだには、しましまのようがあります。しかくとせんのもようになっています。しよっかくは、四本あります。目は、くろです。口は小さく、耳も小さくて丸いです。たまごは太いし、小さいです。たまごをうむところは、長くて、土にさすところは、ほそいです。くびのところは、かめのこうらのようになっています。口のまわりには毛がはえました。



☆一年一組絵日記

あらい こうた

ぼくは、かぞくでくりひろいきました。木をゆらすとくりがおちてきました。ぼつぼつとくりがおちてきました。ちくちくしていかかったです。さんかくのかたちをしたくりがありました。おうちにもつてかえって、くりごほんにしてたべたらいろかったです。かたかったけど、おいしかったです。



☆一年一組絵日記

安田 さえ子

わたしのおうちには、かいがらがあります。ひとつのかいがらは、ピンクとしろです。もうひとつは、しましまいろです。さいごのは、きいろとむらさきいろです。さわったかんじは、とげとげしていました。うみでひろいました。たのしかったです。いもうとも、てつだってくれました。



☆一年一組絵日記

北口 かすみ

わたしは、かわいいうさぎのぬいぐるみをもっています。まだなまえはありません。ピンク色です。さわるとふわふわです。わたあめのおいがします。このうさぎがだいすきです。なまえは、ポコにきまりました。



☆一年一組絵日記

遠藤 しょうたろう

マンモスこうえんがぼくのいえのちかくにあります。こうえんには、ほねがあつてすごいです。ねずみいろのすべりだいもあります。木がたくさんあって、林になっています。オポッサムがいて、あらいぐまにいます。ざっしよくとりがいてあかちゃんもいました。



☆三年二組自分の名前由来

武田 真穂

わたしの名前は、まほです。お父さんとお母さんが考えました。まほの「真」は、まつすぐに育ってほしいこと、「穂」は、実りの多い人生になるようにとつけました。四才上のお姉ちゃんも「穂」を使って姉妹でそろっています。わたしにとっては、ふつうの名前だと思えました。

「穂」



☆三年二組自分の名前由来

堂浦 希帆

わたしの名前はきほです。お父さんとお母さんが半年考えてつけてくれました。周りにあまりない名前とか変わった名前にならないように考えたそうです。希は、希望。帆は、船の帆です。海に浮かんだ船が希望に向かって進むように、まっすぐに成長してほしいという願いが込められた名前です。私はすごく気に入っています。本当にいい名前だと思います。お父さんお母さんありがとうございます。



☆三年一組自分の名前由来

川田 慶人

慶は、喜び、おくりもの、めでたいです。そして、人です。人をよるこぼせたり、おくりものを届ける人になってほしいとお父さんとお母さんがつけてくれました。生まれた時に、たくさんの人からおくり物をもらったそうです。ぼくは、みんなにおくりものをおくりたいです。ぼくはこの名前をもらってとてもうれし